

月間報告書 2022年2月分

学籍番号 留学先 サンパウロ大学
 氏名 留学期間 2022/01/01~2022/09/19
 年次 3年次 留学区分 派遣留学

I. 受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	CCIN-Português para estrangeiros	外国人のためのポルトガル語	1800	授業

II. 授業内容

No. 1

月曜日から木曜日の夜八時から十一時までオンラインで授業があります。この授業は主にブラジルのポルトガル語の文法や自国(日本)について、新聞や長文、動画などを視聴してポルトガル語に慣れていくという授業です。また、グループディスカッションがとても多い授業です。グループディスカッションでは、ヨーロッパや南米の子たちがとても積極的に進めてくれていたのでとてもやりやすかったです。アジア圏の子たちよりもポルトガル語を理解していてもっと勉強しないといけないなど感じさせられました。世界中からの留学生ばかりで、ポルトガル語でのみでディスカッションを行います。それぞれが意見を出し合いまとめ先生に発表したり、自分の国や住んでいる地域についてほかの留学生に紹介するというのもしました。日本人同士でグループワークをすることもありますが、日本語は使わず、ポルトガル語のみで会話をしました。ポルトガル語を学ぶ以外にも、留学生同士なので、他国のことについてポルトガル語で学ぶことができるのもこの授業の特徴ではないかと感じました。

III. 生活編

二月は、日本でサンパウロ大学の外国人、留学生に向けてのポルトガル語の授業をオンラインで受けていました。オンライン授業は、ブラジルの時間に合わせた授業だったため、日本の夜八時から十一時までの三時間での授業でした。

また、ブラジルへの出発に向けて、荷造りをしたり必要なものを買いに行き半年ほどの留学生活に向けて準備していました。日本では、春休み期間だったので、地元の友達や知り合いの人たちとゆっくりしていました。

また、三月初旬にブラジルのサンパウロの方に出発なのですが、ドキドキと不安です。

月間報告書 2022年3月分

学籍番号 留学先 サンパウロ大学
 氏名 留学期間 2022/01/01～2022/09/19
 年次 3年次 留学区分 派遣留学

I. 受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	CCIN-Português para estrangeiros	外国人のためのポルトガル語	360	授業
2	Fonética Acústica e Articulatória	音響及び調音音声学	120	授業
3	literatura japonesa III	日本文学	240	授業
4	cultura japonesa I	日本文化	360	授業
5	aspectos da cultura brasileira I	ブラジル文化の諸相	120	授業

II. 授業内容

No. 1

最終のプレゼンテーションがあり、その準備を二回の授業で行いました。二～三人でグループを作り自分の国の習慣や観光地、食べ物などを紹介しました。練習をグループでしながら、この部分は少し変えた方がいいなどとアドバイスをしながらプレゼンテーションに向けて準備しました。留学生へのプレゼンテーションだったので、PowerPointにはなるべく多くの文字を入れて理解できるように工夫もしました。

No. 2

この授業では、ポルトガル語の言語の音声について学ぶ授業です。ポルトガル語の言語の特徴とその他の言語との違いなどについて学びます。ポルトガル語の音声学でも難しいのにさらに違う言語と比べるとというのは私にとってはとても難しすぎる授業だなと感じています。

No. 3

この授業では、日本の文学について学びます。今回は明治時代について学びました。日本で学習してきた内容ですが、すべてポルトガル語での授業のため、日本の歴史についてポルトガル語で学ぶのはとても難しく感じています。日本で学んだ内容よりもさらに詳しい内容を説明してくれます。基本的に、教科書はなく先生の作成したPowerPointで授業が進みます。

No. 4

この授業では、日本の文化について学びます。今回は日本の今までの時代について大まかに説明され、日本の自然の特徴や自然災害などが与える影響について学び、二回目の授業では縄文時代と弥生時代について学びました。最初の一時間は先生からの説明で、残りの一時間は何人かずつでグループになりその日学んだ授業内容から問題が出され話し合いをします。

No. 5

この授業では、ブラジルの文化について勉強します。留学生向けの授業ですが、とても内容は難しいです。ブラジル人が読んでいる本を留学生も読み、内容を理解していきます。毎回先生が変わりいろいろな話をしてくれます。オンラインでの授業のため、理解するのにさらに時間がかかってしまいます。ブラジルの本を最終課題の時までに読み内容を分析していかなければならないので、とても大変です。

III. 生活編

三月九日の夕方にブラジルのサンパウロに到着しました。空港から家までは車で一時間ほどの場所にあります。家についてからも荷物を運び、部屋の様子を確認したりなど着いてからすることがたくさんありました。夜ご飯もまだだったため近くのショッピングセンターに行きご飯を食べ、生活していく上で必要なコップやお皿、鍋やトイレ用品、食材などを買いました。着いた日からこんなにもバタバタすると思っていなかったのもとても疲れしました。家に帰ってきたのも夜の十一時過ぎでそれからシャワーを浴びて寝ました。一日目はとても疲れていたのも、次の日にオンライン授業が終わってから日本から持ってきた荷物を片付けました。

三月の初めのころは、授業がなく自由だったのでアパートから近くのショッピングモールやスーパーに行き現地の雰囲気を味わっていました。自由な中でも外国人登録を行わなければならない、毎日必死にやっていました。サンパウロ大学の国際部の人がしてくれるのですが、提出資料が難しく毎日格闘していました。

そのほかには、高校の頃に留学してお世話になったホストファミリーの家に遊びに行ったり、現地にいる友達に会ったり、一緒に住んでいるルームメイトの子とサンパウロ市内を散歩したりお出かけをしたりと空いている時間を使って過ごしています。アパートにはプールやジム、勉強スペースなど様々な施設があるので

授業のない日や授業が早く終わってからジムやプールに行き時間を有効活用しています。

月間報告書 2022年4月分

学籍番号 留学先 サンパウロ大学
 氏名 留学期間 2022/01/01～2022/09/19
 年次 3年次 留学区分 派遣留学

I. 受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	Fonética Acústica e Articulatória	音響及び調音音声学	360	授業
2	literatura japonesa III	日本文学	600	授業
3	cultura japonesa I	日本文化	360	授業
4	aspectos da cultura brasileira I	ブラジル文化の諸相	360	授業

II. 授業内容

No. 1

この授業では、一つ一つの単語、文章がどのくらいの音の高さで話されていて、のどの響きがどのくらいなのかについて勉強します。ポルトガル語とほかの言語を比べたりポルトガル語の音声学ではないので正直理解するのにとても時間がかかります。

No. 2

この授業は、四月中旬から週に二回の授業に変わりました。火曜日には、日本の文学上の有名な人の作品について勉強します。火曜日の方の授業では、先生の説明している著名人の作品についてのプレゼンテーションがあります。日本で聞いたことのある著名人ですが、実際にその作品を読んだことがないのでとても苦労しています。また、その作品を英語で読まなければいけないので特に頭を抱えています。授業自体はポルトガル語で行われていますが、作品はポルトガル語がないので大変です。水曜日の授業は、大正時代について日本の歴史上に存在した～派の勉強をしています。また、日本の有名な著名人の生き方や、文学がどのように日本に入ってきたのかなどの勉強をしました。

No. 3

この授業では、日本の神について、日本の宗教とはについて学びました。実際に日本の神がどのようなものなのかを写真で見せてくれたり、このお寺・神社に行くことと願事をするなど、日本の授業では教えてくれないようなことも学びました。日本書紀や律令、日本の仏教とアジア圏の仏教との違いについても学びました。日本の文化について細かく先生が説明してくれるので、とても話の内容が自分自身にとってもブラジル人にとっても勉強になるなど感じました。今月のこの授業は私の興味のある分野だったのでとても楽しかったのですが、授業内容のポルトガル語の単語が難しい単語ばかりで苦労しました。

No. 4

この授業では、毎回先生が変わりブラジルの美術や、ブラジル国内の歴史などについて紹介してくれます。留学生のための授業ですが、話している内容はとても難しくなかなか理解するのに時間がかかってしまいます。毎回パワーポイントを使用して説明してくれるのですが、スピードが少し早いのと話している単語が難しいので、苦労しています。ですが、ブラジルの今と昔について知ることができたり、都市それぞれの発展の仕方についても知ることができたのでよかったです。

III. 生活編

ブラジルに来てから二か月になる月に来ました。ブラジルでの生活にも段々慣れてきて、学校に行く際の大混雑するバスの時間にも慣れてきました。学校に行くことには慣れましたが、学校の中はともかく冒険するにも迷子になりそうで怖いです。ブラジルの天気は三月よりもいい天気の日が多いです。三月は雨が多かったですが、今月は晴れの日が多く昼間は三十度を超える日が多いです。ですが、今の時期は冬へと向かっている季節なので朝方と夜は肌寒いんです。また、今月は休みの日が多かったので、大学の友達と一緒に勉強したり、三年前にブラジルに留学していた際にお世話になっていたホストファミリーの家遊びに行ったりしました。久しぶりに会うことができ、何泊かさせてもらったので留学していたころのことを思い出しました。

大学での留学は、ホストファミリーの家での生活ではないため、自分自身でしなければいけないことが多いです。毎日食事を家で作っていますが、ブラジル料理の作り方を知らないためブラジルに来て日本料理を作っています。実際、日本にいた頃よりも料理をする日が多いです。ブラジルに来てからは毎日料理をしているので、自分自身が成長できるなとも感じています。休みの日にホストファミリーやブラジル人の家に行くと現地の料理や現地の人と会話をすることができるのでとても楽しいです。

四月に入ってから、同じ学科の同じクラスの子と毎日のように一緒にいることが多く、ポルトガル語の勉強を一緒にしたりブラジルの食べ物を一緒に食べに行ったりととても楽しいです。その反面、まだまだ授業内容が理解できていなかったり、大学の友達がスラスラ話しているのをすべて理解することができなかつたりするので残りの三か月で少しずつ上達したいなと思っています。

月間報告書 2022年5月分

学籍番号 留学先 サンパウロ大学
 氏名 留学期間 2022/01/01～2022/09/19
 年次 3年次 留学区分 派遣留学

I. 受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	literatura japonesa III	日本文学	720	授業
2	cultura japonesa I	日本文化	360	授業
3	aspectos da cultura brasileira I	ブラジル文化の諸相	360	授業

II. 授業内容

No. 1

この授業では、火曜日はプレゼンテーションが始まり、クラスの中でグループに分かれて毎週一組ずつが発表します。日本の有名な作家の本を読み、作者の生い立ちや本の内容を話し、自分の考えなども発表しなければならないのでとても大変です。水曜日の授業では、主に一人の作家について様々なことを学びます。日本で一人の作家について細かく勉強することがなかったので、とてもいい勉強にはなりますが、先生の説明している速さと、使われている単語の難しさとすぐに内容を理解することは難しいです。一人の作家について多く学ぶので、同じクラスの生徒たちは日本の作家にとっても興味を持ち、日本の作家についてよく聞かれることがあります。ですが、正直日本ではそこまで細かく作家について学ぶことはないのも、何も説明できないことが少し悔しかったです。サンパウロ大学にいる生徒の方が日本の作家についてよく知っているなと感じました。

No. 2

この授業では、聖徳太子、十七条の憲法、日本の天皇についてなどを学びました。十七条の憲法の中身を細かく説明してくれました。憲法のことだけで一回分の授業が終わってしまいます。この授業でも、日本で勉強した内容を踏まえてプラスで学ぶことができるのでとてもいい勉強になっていると思います。聖徳太子の時代の日本と中国との関わりや相互でどのようにしてきたのかなども学びました。また、日本にしかない天皇という存在についても学びました。この内容は、天皇の初めの話から現在に至るまでの内容を学ぶことができました。昔の天皇についてはあまり詳しく知らなかったのも、この授業で細かい内容まで知ることができてよかったです。ですが、この授業も日本文学と同じで先生の説明が速く、単語が難しいのでなかなか苦労しています。

No. 3

毎回授業をしてくれる先生が違います。なので、毎回話し方も違い授業内容も異なります。この授業は留学生向けの授業ですが、サンパウロ大学の友達に聞くと「現地の人でも難しい内容を説明されてるね。」と言われたので、正直この授業がとても不安です。オンラインのみの授業なので、とても大変です。

III. 生活編

ブラジルに来てから三か月目になりました。残りも二か月です。大学の授業もまだまだ慣れず、毎日新しい内容ばかりで正直ついていくのが大変だなと実感しています。今月は、私の誕生日の月だったので、高校生の頃お世話になっていたホストファミリーが家に招いてくれて誕生日と一緒に過ごしました。ホストファミリーと同じ日に誕生日なので一日にケーキを二つも食べました。ブラジル料理もホストファミリーの家に行くことができるので、とても嬉しいです。料理を教えてもらったり、ブラジルのデザート作り方なども教えてもらったりと、アパートではできないことをホストファミリーの家に行くときさせてもらえます。そのほかにも、ホストファミリーの家に行っている間に親戚の家にも連れて行ってもらったり、三年ぶりにホストファミリーが仲良くしている人の家にも行くことができとても楽しかったですし、久しぶりに会えたのでとても喜んでくれました。

別の週末には、高校の頃通っていた現地の高校(日系人)の友達に運動会に誘ってくれたので、参加しました。その運動会では、ブラジルにいる日系人のための運動会でもその中でも沖縄からの出稼ぎの人たちの運動会でした。日系人の運動会なので、日本語で放送したり、婦人会の人は高齢な人が多いので、日本語しか話せない人もいたり、いつもの生活よりも日本を感じました。様々な競技に参加させてもらいました。久しぶりに走ったり、運動会をしたので筋肉痛に襲われました。

5月のブラジルは天気が不安定な日が多かったです。急に雨が降ったり、昨日は半袖でも暑いぐらいだったのが次の日には長袖にもう一枚羽織る服が必要だったり体温調節するのが難しい月でした。

残り二か月もないですが、ブラジルでの生活を充実したいと思います。

月間報告書 2022年6月分

学籍番号 留学先 サンパウロ大学
 氏名 留学期間 2022/01/01～2022/09/19
 年次 3年次 留学区分 派遣留学

I. 受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	literatura japonesa III	日本文学	840	授業
2	cultura japonesa I	日本文化	480	授業
3	aspectos da cultura brasileira I	ブラジル文化の諸相	360	授業

II. 授業内容

No. 1

今月の授業では、グループごとのプレゼンテーションを聞くのがメインでした。今月に私のグループもプレゼンテーションを行いました。私たちのグループは志賀直哉についてでした。志賀直哉の生い立ちをまず話し、次に彼が所属していた白樺派について説明し、最後に先生から決められていた志賀直哉の作品について話しました。志賀直哉の作品は「焚火」でした。一度も読んだことのない作品だったので、まず読んで作品の内容を理解することからでした。正直、この作品は今の若者というよりも少し大人の人向けで書かれている言葉が難しかったです。私は、プレゼンテーションでは白樺派について話しました。日本の歴史や国語の授業で白樺派について勉強しなかったので、とても勉強になるプレゼンテーションでした。ブラジル人の前でポルトガル語でのプレゼンテーションは緊張しましたが、うまく発表できたのでよかったです。

No. 2

今月の授業では、奈良時代について勉強しました。奈良時代に出てきた人の話や、トイレの様子など様々なことを学びました。また、日本語の平仮名、カタカナのできた経緯なども学ぶことができたのでとてもいい勉強になりました。日本の過去の書物なども学びました。どのような違いがあるのか、日本と中国との関わりなど、この時代では様々なことが起きていたことを改めて学びました。

No. 3

今月末でこの授業が終わりました。毎回先生が変わるため、話し方や授業内容のすべてが異なります。ですが、ブラジルの内容について知ることができたのでよかったです。ブラジル人からしても難しい内容の授業だということを大学の友達に内容を見せた時に言われました。私たちでも難しい内容の授業と言われて、余計に驚きました。内容自体も、昔のブラジルの話が多いため、理解するのになかなか時間がかかりました。

III. 生活編

6月は、気温が上がったり下がったりと服装に困る月でした。それとともに、授業の最終課題の提出日に追われて毎日バタバタした月でもありました。6月中旬には、サンパウロ市内から離れた別の都市に旅行に行きました。初めてブラジルの南東部に行けたのでよかったです。ブラジルのディズニーランドとブラジル人が言っている遊園地にも行きました。行ってみると、その日はブラジルは休みの日だったため多くのお客さんにぎわっていたので、乗り物一つ乗るにも結構な時間並びました。ブラジルにはディズニーはありませんが、ブラジル人の言うディズニーに行ってみると、私はディズニーよりもユニバーサルスタジオジャパンに似ているなど感じました。また、約10時間のバス移動はとても疲れました。でも、おいしい食べ物を食べることができたのでとてもよかったです。

日本帰国までも残り一か月を切りました。大学の授業は少しずつ慣れてきていますが、未だに授業内容が難しく困っているのが正直です。

今月一番驚いたことは、学校に行くバスをバス停で待っているときでした。普段ならバスがどんどん入れ替わりに来るのですが、その日は大学に行くバスがストライキで一台も来ませんでした。私は、そのことを知らなかったのでバス停で約30分待っていました。その後、同じ大学の子に「今日はバス来ないよ」と連絡がきたので急いで歩いて大学まで向かいました。授業開始の時間より少し遅れての到着でしたが、ほかの生徒の子も遅れてきていたので、自分だけではないことに安心しました。でも、いきなりバスがストライキになるなんて驚きました。日本では経験したことないことなのでとても焦りました。

月間報告書 2022年7月分

学籍番号 留学先 サンパウロ大学
 氏名 留学期間 2022/01/01~2022/09/19
 年次 3年次 留学区分 派遣留学

I. 受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	literatura japonesa III	日本文学	480	授業
2	cultura japonesa I	日本文化	240	授業

II. 授業内容

No. 1

有島武郎の作品「小さきものへ」の作品を日本語で読み、その内容について先生が出題した質問について答えるということをしました。質問の内容は少し難しく感じましたが、しっかりと内容を理解してからだったので、問題を解くことができました。次の週には、最後のグループの人たちのプレゼンテーションがありました。内容自体は、とても難しく、半分くらいしか理解することができませんでした。ですが、その後大学の友達にもう少し詳しく聞いて内容をほぼすべて理解することができました。

No. 2

今月の授業は、春学期の授業で学んだ内容をグループごとに分かれてテストをするという内容でした。テストの内容は、とても難しく、同じグループのブラジル人の子たちが助けてくれました。日本語では答えはわかっている、内容はすべてポルトガル語のため、ポルトガル語に訳しその内容について書くということは大変難しかったです。でも、グループでのテストだったのでたくさんの意見が出てそれをまとめるのが大変そうでした。

III. 生活編

今月は様々なことがありました。自炊生活も今月で最後でした。買い物に行くにも何回家でご飯を作って食べるのがわからず、食料の買い物も少しずつしてました。また、高校の頃にお世話になっていたホストファミリーのシスターが誕生日だったので誕生日会に誘ってもらい参加しました。ブラジルで有名なシュラスコをして、ブラジルのルールでUNOをしたりお話をしたりしました。そして、夜には誕生日の歌を歌い大きいケーキをみんなで分けて食べました。次の週には、ホストマザーが日本に持って帰るお土産を買いに一緒に行ってくれて、アサイーと一緒に食べました。たくさんのお土産を買うことができたのですごくうれしかったです。コーヒーがキャリーケースにたくさん入っていてとても重いです。また別の日には、大学の友達と一緒に大学の食堂でご飯を食べて、おやつの中にはコーヒーとケーキを食べに行きました。本場ブラジルのコーヒーは本当においしいなどカフェに行くと感じさせられます。サンパウロ大学の中にあるとても広い広場で話をしたり、一緒に写真を撮ったりとても充実した七月でした。

また、帰国の一週間前に日本人の留学生の子たちがお別れついでにご飯に誘ってくれました。サンパウロ大学での授業で同じ授業の子もいればその日が初めての子もいたのでとても新鮮な感じでした。サンパウロ大学には、京都外国語大学のほかにも神田外国語大学、大阪大学の子たちがいました。

帰国の荷物を詰める作業はぎりぎりまでしていました。私は、前々から準備をするよりもぎりぎりに準備をして荷物をまとめる方が、何を入れて何を入れていないのかを一度で確認することができるので毎回そうしています。